

ニンジン

ニンジン独特の匂いなどから子どもの好き嫌いが多く食材のひとつとしても知られていますが、「緑黄色野菜の王様」と呼ばれるほどカロテンやビタミン、食物繊維、ミネラルなど、多くの栄養素を含んでいます。



作型

作りやすいのは、夏まきで11月～12月収穫の栽培である。畑は早めに完熟堆肥と石灰を施し、15～20cmの深さに耕す。順調に生育させるには、本葉2枚目までと、根の肥大期にあたる本葉6枚目頃の水やりが大切。

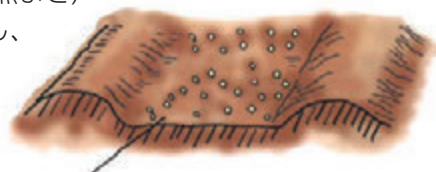
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
夏まき	■	■	■				○	○				■	向陽二号・夏蒔鮮紅五寸・金時人參 黒田五寸

○：種まき ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	300kg
セルカ(有機石灰)	10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥 a当たり	
醗酵鶏糞	20kg
畝立時施用	

- ・2条まき：畝幅80～90cm(条間30cm) 10cm程度の巻き溝を作る。
- ・十分灌水してから種をばらまきし、薄く覆土(4～5mm)後、鎮圧する。(コーティング種子は10cm間隔で点まき)
- ・発芽まで乾燥を防ぐため十分灌水し、切りわら並びに寒冷紗をべたがけするとよい。



種は溝いっぱいにはらまきする。

間引き・追肥

- ・本葉1～2枚時：こみ合っているところを間引く。
- ・本葉3～4枚時：5cm間隔に間引く。
- ・本葉6～7枚時：7～8cm間隔に間引き、追肥する。
- ・2回目の間引き後から追肥、土寄せを行う。(追肥は1回目と反対側に施す)
(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料4～5kg/a)



覆土は5mmぐらい

くわの背で軽くおさえる



間引き1回目



間引き2回目



間引き3回目

防除

病害虫名	耕種防除	薬剤防除
黒葉枯病	発病株を除去する。 肥切れしないようにする。	ダコニール1000(1,000倍) 7日前まで5回 Zボルドー(500～800倍)
軟腐病	高温時の播種を避ける。	
ヨトウムシ	早期に発見し、分散前に捕殺する。	

収穫

- ・発芽後110～120日位で収穫の目安とする。
- ・太くなったものから順に抜き取る。
- ・穫り遅れないように注意する。



ブロッコリー



ブロッコリーはケールが祖先にあたるアブラナ科アブラナ属の植物で、アクがほとんどなく、ほのかな甘みがあります。また、形がよく似ているカリフラワーより栄養価が高いのが特徴です。

作型 つぼみを食べる野菜の代表格で、花が咲かないうちに収穫する。追肥と灌水をこまめに行い、側枝も収穫すると良い。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
夏まき	■	■	■					○	△		■	■	グリエール・ハイツ・緑嶺・グリーンランド

○：種まき △：植え付け ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆肥	300kg
セルカ（有機石灰）	10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元肥 a当たり	
野菜専用肥料	5kg
醗酵鶏糞	40kg
畝立時施用	

- 1条植え：畝幅70～80cm
株間：30～40cm
- 土寄せしやすいように低く植える。
- 植え穴に灌水してから植え付ける。（乾燥しやすい場合）

支柱立て

- 草丈が高くなるので、30cm位伸びたら支柱を立てる。

追肥・土寄せ

- 定植後15～20日：追肥し、土寄せを行う。
- 花蕾が見え始めた頃：追肥し、土寄せを行う。
- わき花蕾を収穫する場合は頂花蕾収穫後：追肥し、土寄せを行う。（追肥の量：畝肩にそれぞれ野菜専用肥料7kg/a）

防除

病害虫名	耕種的防除
アブラムシ類	光反射テープ 光反射マルチを用いる
アオムシ コナガ	幼虫を捕殺する 育苗期に寒冷紗またはパスライト等で覆う

収穫

- 蕾が米粒大になった頃（直径15cm位）
- 花が咲かないうちに収穫する。
- 側枝が伸びて先端に蕾をつけるので、これも収穫できる。



■苗の準備

- ト口箱などに条間5～6cmで、すじ状にまく。
- うすく覆土（5mm）し、鎮圧する。
発芽まで新聞紙をかける。
（新聞紙は発芽後すぐに取り除く）
- 発芽したら2cmに間引き、本葉2枚頃、ポットに移植する。（9cmポット）
- 種まき後35～45日位、本葉5～6枚の苗を定植する。
灌水：午前～日中に行う。追肥は液肥500倍液を灌水代わりに散布。
床土の作成：1㎡当たり完熟堆肥2kg、BMようりん50g、セルカ150g、野菜専用肥料100g

